

わたしと歴史学、わたしと考古学

早稲田大学史学会では、文学部・文化構想学部みなさまに歴史学・考古学の魅力を伝えるべく、また文学部1年生の進級ガイダンスの一環として「わたしと歴史学、わたしと考古学」という連続講演会を毎年開催しております。歴史学・考古学に従事する新進気鋭の研究者をお招きし、その学問についてざっくばらんに語っていただきます。なぜ歴史や考古の道を選んだのか？何を、どういう意識や目的をもって研究しているのか？研究の「おもしろさ」や「つらさ」、さらには留学経験のことなどなど。ご期待ください。

連続講演会は下記の日程で行われます。ぜひお立ち寄りください。

入場自由 来聴歓迎

第一回

6月4日(水) 1時限 (9:00-10:30)

38号館 AV教室

嵐田修 (本学図書館特別資料室常勤嘱託)	「史料との出会い、学問との出会い」
小倉聖 (本学大学院博士後期課程)	「中国古代の天文・占術と文化」
井出匠 (本学助手)	「スロヴァキア史を研究する」
今城未知 (本学大学院修士課程)	「私と考古学—古墳を調査する—」

第二回

6月9日(月) 3時限 (13:00-14:30)

36号館 582教室

高橋央 (本学大学史資料センター助手)	「私と歴史学 出会いとその面白さ」
植田喜兵成智 (学術振興会特別研究員 DC2)	「朝鮮古代史から見えること」
渡邊裕一 (学術振興会特別研究員 PD)	「アルプス環境史への道程—登りながら考えたこと」
深山絵実梨 (学術振興会特別研究員 DC2)	「東南アジアを歩く、掘る、考える」

《問合せ先》

早稲田大学史学会 庶務担当：文学部西洋史コース室 (33号館 6F)

TEL：03-5286-3579 (内線 3485)